

第 80 回国民スポーツ大会式典基本計画策定について（案）

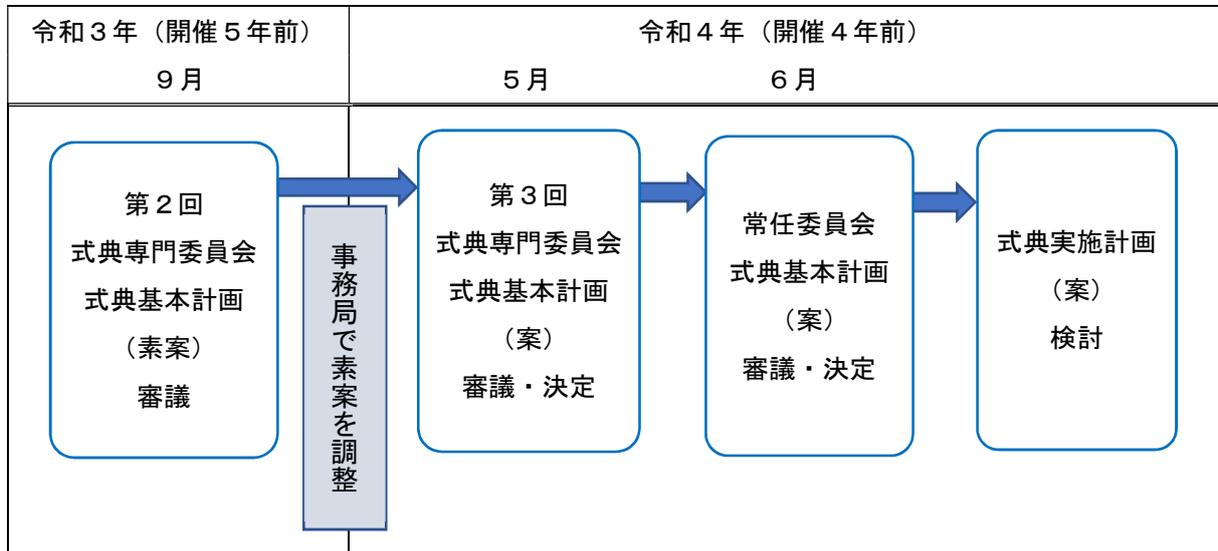
1 式典基本計画の趣旨

式典基本計画は、式典基本方針(令和 2 年 1 月第 7 回常任委員会決定)を踏まえ、式典の具体的な内容についての基本的な考え方を明示し、式典全体の準備の円滑な推進を図るために策定するものである。

2 式典基本計画の策定内容（※先催県の式典基本計画を参考）

項 目	掲載内容
式典基本計画策定にあたって（冒頭部）	
1 国スポ・障スポの概要	開催時期、愛称、テーマなど
2 式典の概要	テーマ、基本的な考え方
3 総合開会式・開会式	基本的な考え方、式次第
4 総合閉会式・閉会式	基本的な考え方、式次第
5 式典演技	基本的な考え方
6 式典音楽	基本的な考え方、音楽隊、使用曲編成
7 各競技会の表彰式	基本的な考え方、方向性
8 炬火イベント	基本的な考え方、方向性

3 策定スケジュール（予定）



4 式典基本計画作成部数

600部

主な配布先：総会、県準備委員会、式典専門委員会

国体関係機関（日スポ協・文科省・宮内庁）

庁内関係課、市町村、先催県及び後催県、報道各社等



第80回国民スポーツ大会

青の煌めき^{きら}あおもり国スポ
翔ける未来へ縄文の風に乗って

式典基本計画（素案）



第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

目次

式典基本計画策定にあたって	1
1 青の煌 ^{きら} めきあおもり国スポ・青の煌 ^{きら} めきあおもり障スポの概要	2
2 式典の概要	5
3 総合開会式・開会式	6
4 総合閉会式・閉会式	8
5 式典演技（式典前演技・歓迎演技）	10
6 式典音楽	11
7 各競技会の表彰式	13
8 炬火イベント	14
9 式典に係るスケジュール	15

式典基本計画策定にあたって

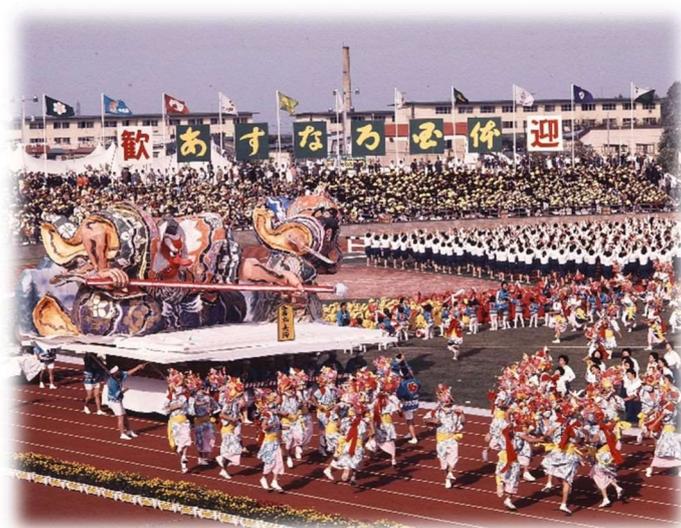
第80回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）の冬季大会及び本大会が、令和8年（2026年）に本県で開催することとなりました。本県での開催は、昭和52年（1977年）に初の完全国体となる「あすなろ国体」が開催されて以来49年ぶりとなり、国スポとしては、初の完全国スポとなります。

また、第25回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）についても、同年に本県で開催されることとなりました。

本県は、国スポの愛称を「青の煌めきあおもり国スポ」、障スポの愛称を「青の煌めきあおもり障スポ」と定め、「オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする」を基本目標に掲げ、「県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ」「県民が自発的、積極的に参加する国スポ」「来県者を熱い心でおもてなしする国スポ」の3つの項目を柱として、「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて県民の総力を結集し、大会の成功を目指します。

総合開・閉会式をはじめとする式典は、あおもりの美しい自然や悠久の歴史・文化を全国から訪れる多くの人々に発信する絶好の機会となります。そこで、県民一人ひとりの総力を結集し、地域の特徴を生かして来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに交流の輪を広げ、あおもりのあらゆる魅力を最大限にアピールする場としながら、参加するすべての人々の元気な姿が輝く式典にしたいと考えています。

式典基本計画は、「式典基本方針」を踏まえ、式典の具体的な内容について基本的な考え方を明示し、式典全体の準備の円滑な推進を図るために策定するものです。



昭和52年（1977年）「あすなろ国体」
～『青森県史資料編近現代6 高度経済成長期の青森県』より～

1 青の煌めきあおもり国スポ・青の煌めきあおもり障スポの概要

●大会名・開催時期・実施競技 ※開催時期は令和5年（2023年）度に決定

第80回国民スポーツ大会

【開催時期】

冬季大会：令和7年（2025年）12月～令和8年（2026年）2月末
日の5日間以内

本大会：令和8年（2026年）9月中旬～10月中旬の11日間以内

【総合開・閉会式会場】カクヒログループアスレチックスタジアム

【実施競技】正式競技 37競技 冬季大会の正式競技 3競技

特別競技 1競技

公開競技 7競技

デモンストラレーションスポーツ 38競技

※R3.12月第10回常任委員会で最終選定案を審議

第25回全国障害者スポーツ大会

【開催時期】国民スポーツ大会本大会の直後を原則として3日間

【開・閉会式会場】カクヒログループアスレチックスタジアム

【実施競技】正式競技 14競技

オープン競技 未定 ※令和6年（2024年）度に決定

●大会愛称

青の煌めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並など美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、
国スポに参加するすべての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと
煌めくような大会を目指します。

青の煌めきあおもり障スポ

青い空、青い海や湖、青い山並など美しく自然に恵まれた青森県で、参加
するすべての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような
大会を目指します。

●スローガン

翔ける未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

●マスコットキャラクター



アップリート君

「アップリート君」は、平成19年に青森県で開催された全国スポーツ・レクリエーション祭のマスコットキャラクターとして誕生しました。

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現し、可愛らしく魅力あふれるキャラクターとして県民に親しまれ、祭典終了後の平成20年からは、県民のスポーツ・健康づくりのマスコットとして引き続き活躍しています。

●イメージソング

「翔ける未来へ」

作詞：井元 仁江

作曲：T. M i k a m i

編曲：多田 慎也、島田 尚

歌：RINGOMUSUME（りんご娘）

2 式典の概要

国スポ・障スポの式典は、開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。

国スポ・障スポ共通のスローガン「翔ける未来へ縄文の風に乗って」のもと、あおもりの多彩な魅力を全国に発信する式典とします。

(1) 式典テーマ

翔ける未来へ縄文の風に乗って

(2) 式典の基本的な考え方

① 県民一人ひとりが持つ力を結集し、創意工夫を凝らしながら感動を創出するとともに、県民の元気な姿が輝く式典

- ・県民一人ひとりが持つ知恵や創意工夫を結集し、簡素化に努めながらもみんなで感動を創り出し、喜びを分かち合える式典を目指します。
- ・県民の元気で活力ある姿がいきいきと輝く式典を目指します。

② 四季折々の美しい自然、豊かな食と物産に恵まれ、悠久の歴史と文化が息づくあおもりのあらゆる魅力を全国へ発信する式典

- ・美しい自然や悠久の歴史と文化を表現して全国へ発信するとともに、あおもりのあらゆる魅力を体感できる式典を目指します。
- ・参加するすべての人々があおもりの良さを再認識し、その素晴らしさに誇りを持つことができる式典を目指します。

③ 来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、参加する人々の交流の輪が広がる式典

- ・県民による熱いおもてなしの心で来県者を歓迎し、心のこもった式典を目指します。
- ・全国から集う選手・観客をはじめ参加する人々の絆を深め、出会いを通して交流の輪が広がり、レガシー（遺産）となる式典を目指します。

3 総合開会式・開会式

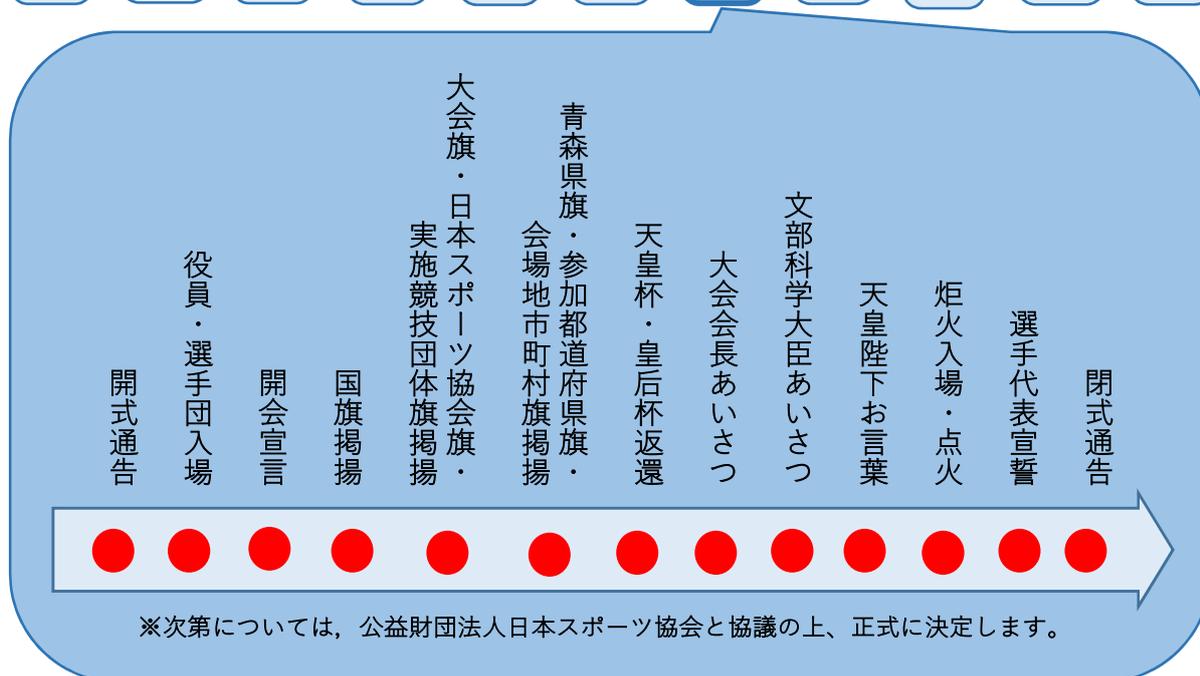
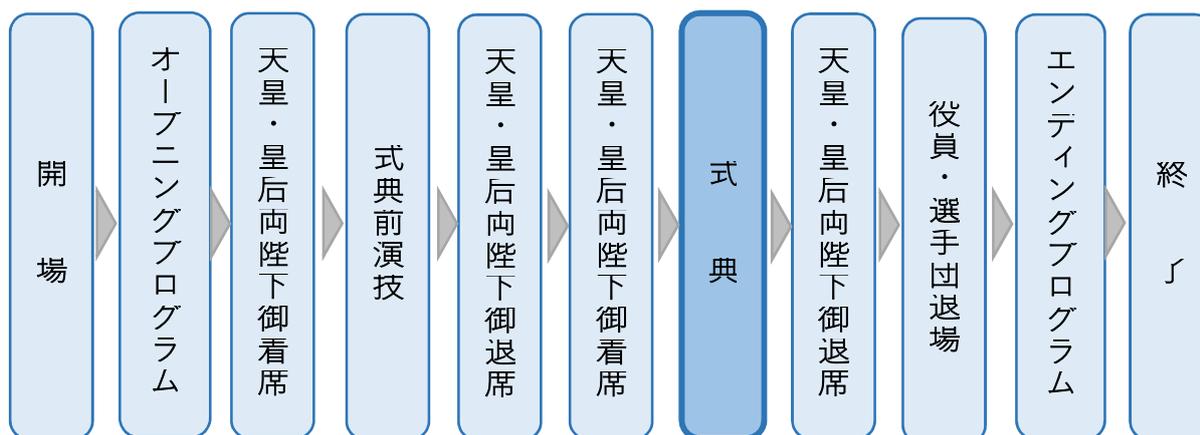
(1) 基本的な考え方（国スポ・障スポ共通）

- ① 県民総参加のもと、総力を結集して選手・参加者へエールを送り、国スポ・障スポへの期待感と感動を創出する内容とします。
- ② 自然、歴史、文化といったあらゆる魅力を表現し、躍動するあおもりを全国へ発信する内容とします。
- ③ スポーツを通したつながりが貴重な財産となり、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるとともに、県民がスポーツに親しむきっかけになるような内容とします。



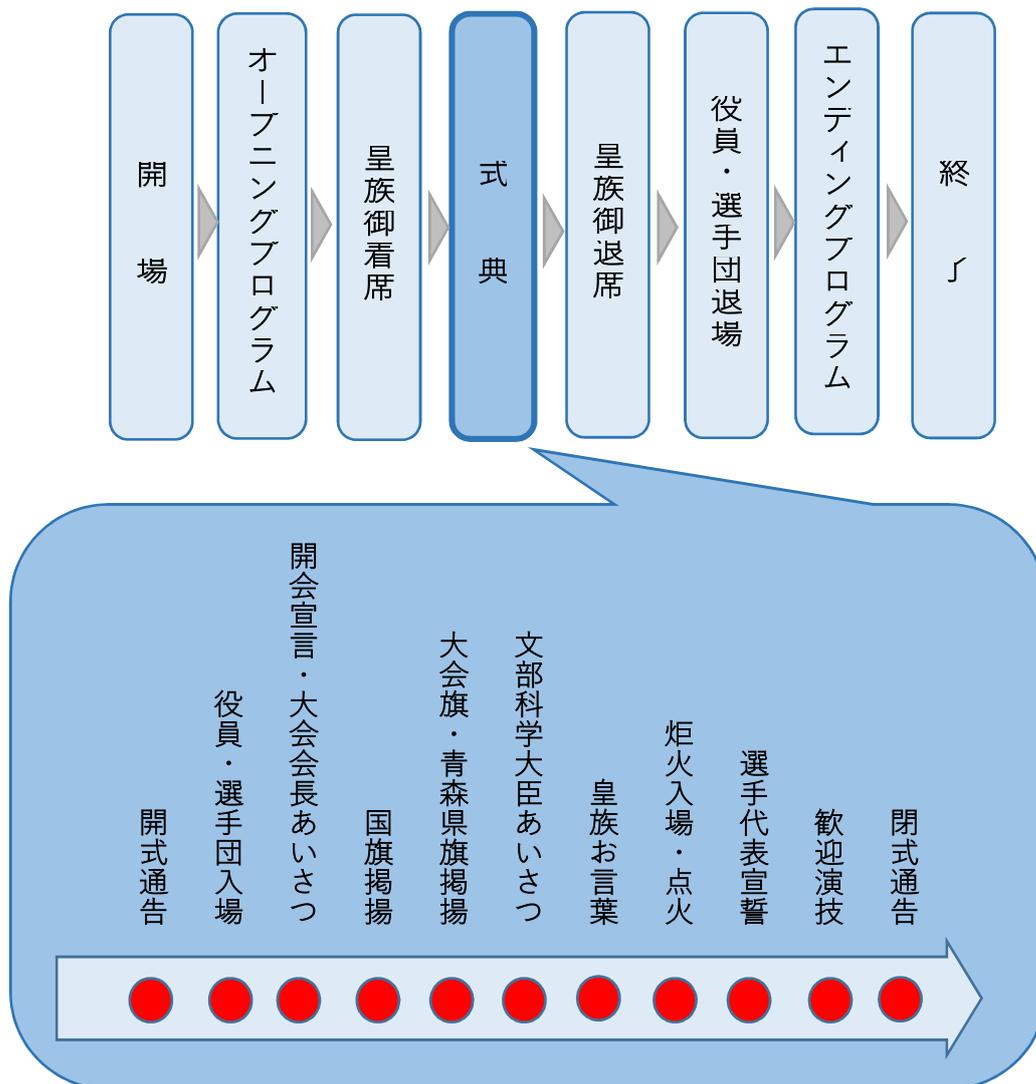
(2) 次第

① 青の煌めきあおもり国スポ 総合開会式



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

② 青の煌^{きら}めきあおもり障スポ 開会式



(3) オープニングプログラムの基本的な考え方(国スポ・障スポ共通)

- ① 多彩な出演団体によって「あおもりの魅力」を発信し、全国の人々と喜びや感動を分かち合い、国スポ・障スポの開幕を飾るにふさわしい内容とします。
- ② 多くの県民が参加し、出演者・観覧者が一体となって心躍る楽しい時間を共に過ごし、期待感や応援ムードが高まる内容とします。

(4) エンディングプログラムの基本的な考え方(国スポ・障スポ共通)

- ① 式典の余韻を楽しみながら、これから始まる競技会への期待が高まるよう、創意工夫を凝らした内容にします。
- ② 式典終了後、会場周辺の混雑緩和と、役員・選手団のスムーズな退出が可能となるよう配慮します。

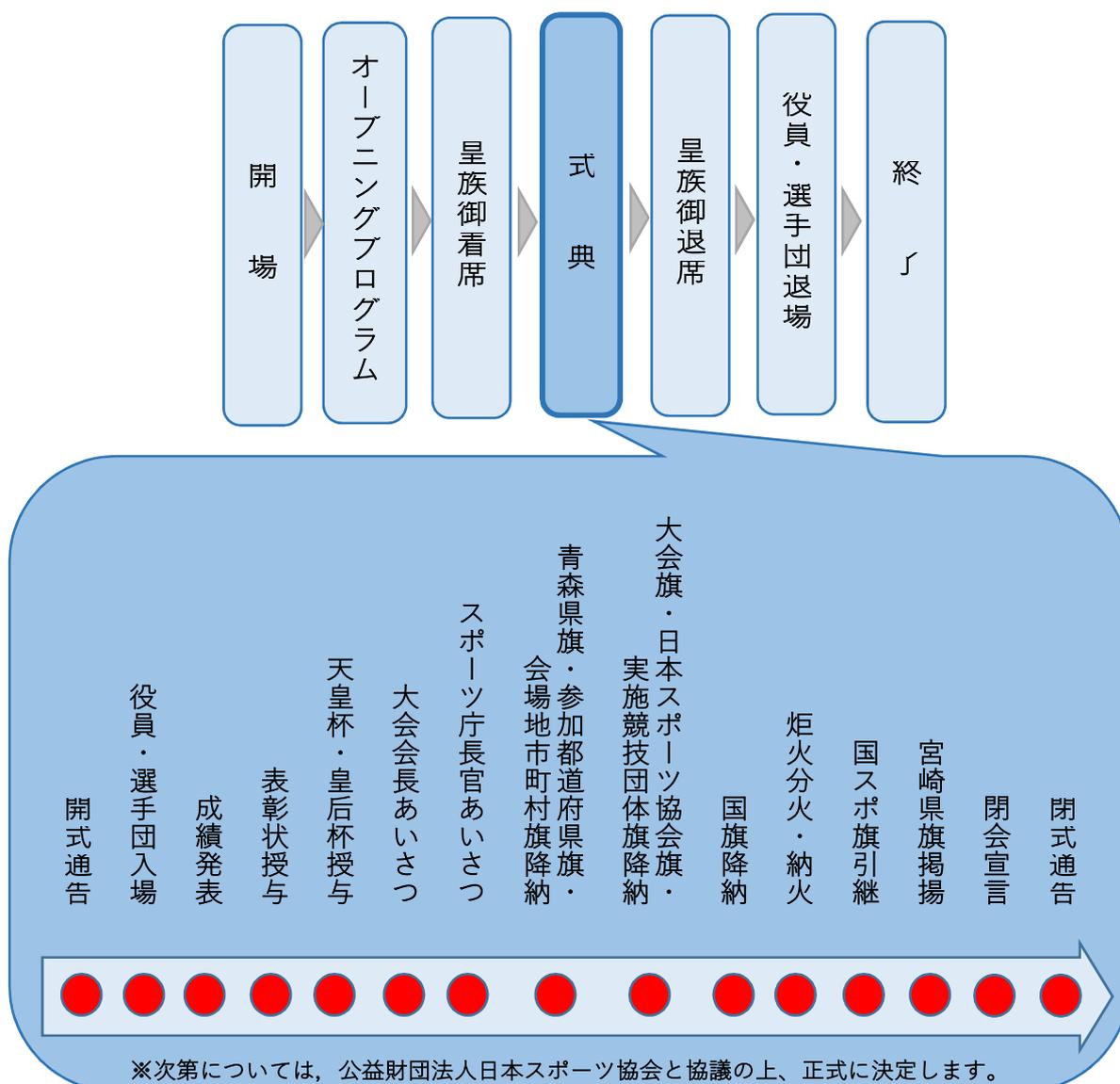
4 総合閉会式・閉会式

(1) 基本的な考え方（国スポ・障スポ共通）

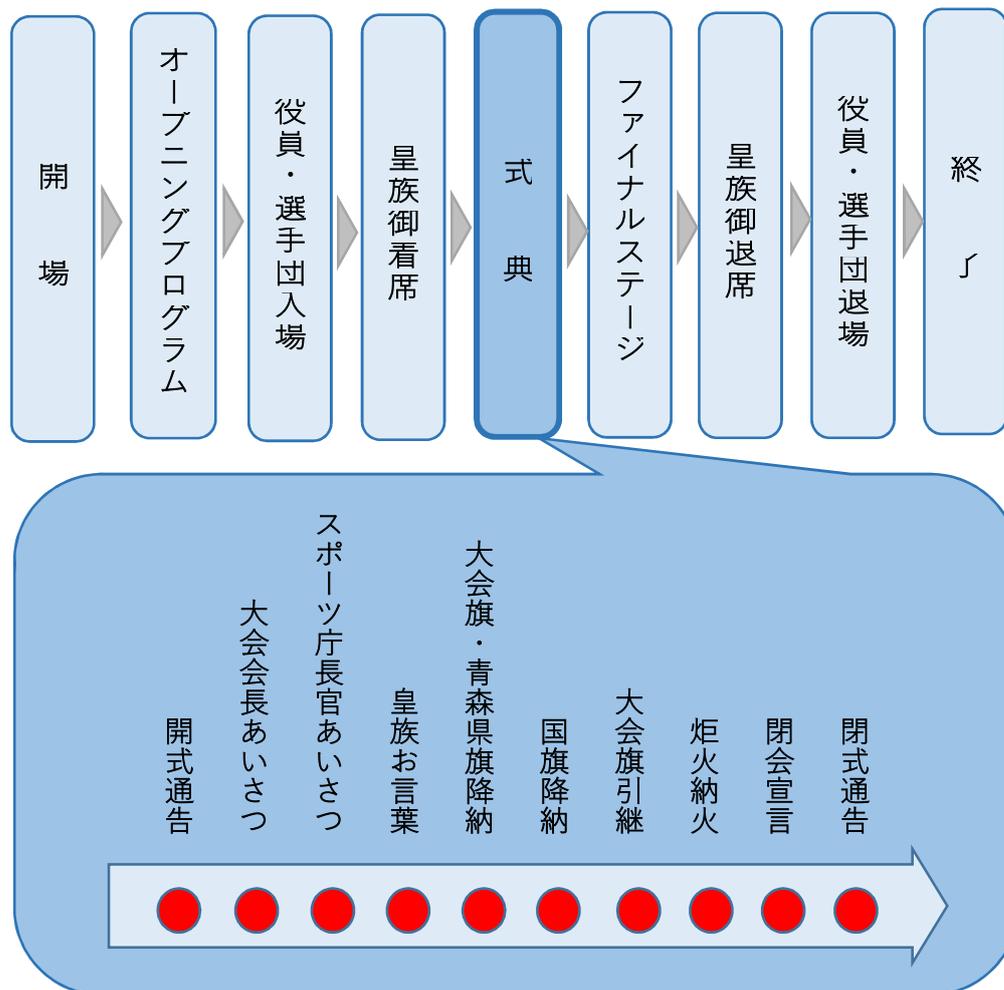
- ① 数々の熱戦を繰り広げてくれた選手の健闘を称えるとともに、大会を支えてくれたすべての人に感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ② 国スポ・障スポを通じて生まれた交流の輪、喜びや感動をさらに深める内容とします。
- ③ 第81回国民スポーツ大会や、第26回全国障害者スポーツ大会へつなげる内容とします。

(2) 次第

① 青の煌めきあおもり国スポ 総合閉会式



② 青の煌めきあおもり障スポ 閉会式



(3) オープニングプログラムの基本的な考え方(国スポ・障スポ共通)

- ① 繰り広げられた熱戦を振り返り、感動を与えてくれた選手を称えるとともに、「青の煌めきあおもり国スポ」及び「青の煌めきあおもり障スポ」に関わったすべての方々への感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ② あおもりの魅力を全国に発信し、感動を創出する内容とします。
- ③ 「青の煌めきあおもり国スポ」の総合閉会式では、「青の煌めきあおもり障スポ」への期待が高まる内容とします。

(4) ファイナルステージの基本的な考え方(障スポのみ)

- ① 「青の煌めきあおもり障スポ」のフィナーレを飾るにふさわしい内容とします。
- ② 選手、観客、大会関係者等が一体となって絆を深め、県民のレガシー(遺産)となるような内容とします。

5 式典演技（式典前演技・歓迎演技）

（1）基本的な考え方

- ① 参加するすべての人々の笑顔が煌めき、これから始まる国スポ・障スポへの期待感が高まる演技構成とします。
- ② 美しい自然や悠久の歴史と文化を表現して、受け継がれてきたあおもりの誇れる魅力を体感でき、全国に発信する演技構成とします。
- ③ 出演者と観客が一体となって感動を創出し、いつまでも心に残る演出を目指します。
- ④ 演技内容がわかりやすく伝わり、あおもりの魅力を生かした展開とします。
- ⑤ 国スポ・障スポの連携を図り、テーマや演出を共有します。



6 式典音楽

(1) 基本的な考え方

- ① 青森県の自然や歴史、文化をモチーフとした楽曲や、本県にゆかりのある楽曲を取り入れて構成し、郷土色豊かな式典音楽を目指します。
- ② あおもりの魅力を全国へ発信するため、式典音楽隊は県内の団体から構成し、すべての参加者が感動を共有できる式典音楽を目指します。
- ③ 全国から訪れる方々を熱いおもてなしの心で歓迎する式典音楽を目指します。
- ④ 国スポ・障スポの連携を図り、式典音楽と式典音楽隊は共有します。

(2) 音楽隊編成の構想

① 音楽隊の編成人数

楽隊別	人数
吹奏楽隊	150名程度
合唱隊	150名程度
合計	300名程度



② 音楽隊の編成基準

(共通基準)

- ア 日常的な活動が活発で、一定の演奏水準を維持でき、練習会、リハーサル、総合開・閉会式及び開・閉会式に、地理的・時間的条件において参加が可能な団体とする。
- イ 中学校・高等学校等の出演においては、学校長の承認が得られ、引率等が確保できる学校とし、大学・職場一般においては、所属長等の承認が得られる団体とする。

(部門別基準)

ア 吹奏楽隊

青森県吹奏楽連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。

イ 合唱隊

青森県合唱連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。

(3) 使用曲の構想

【総合開会式・開会式】

場 面	青の煌めきあおもり国スポ	青の煌めきあおもり障スポ
開 式 通 告	ファンファーレⅠ	
役員・選手団入場	入退場行進曲	
開 会 宣 言	ファンファーレⅡ	
国 旗 掲 揚	「君が代」	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚	「若い力」	—
大 会 旗 掲 揚	—	「空よ大地よ」
青森県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗掲揚	青森県民歌	
天皇杯・皇后杯返還	「見よ勇者は帰りぬ」	—
炬火入場・点火	炬火関連曲Ⅰ	
選手代表宣誓	ファンファーレⅢ	
閉 式 通 告	ファンファーレⅣ	
役員・選手団退場	入退場行進曲	

【総合閉会式・閉会式】

場 面	青の煌めきあおもり国スポ	青の煌めきあおもり障スポ
開 式 通 告	ファンファーレⅠ	
役員・選手団入場	入退場行進曲	
表彰状授与 天皇杯・皇后杯授与	「見よ勇者は帰りぬ」	—
青森県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗降納	青森県民歌	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納	「若い力」	—
大 会 旗 降 納	—	「空よ大地よ」
国 旗 降 納	「君が代」	
炬火分火・納火	炬火関連曲Ⅱ	
国スポ・大会旗引継	宮崎県が指定する曲	
次期開催県旗掲揚	宮崎県が指定する曲	—
閉 会 宣 言	ファンファーレⅤ	
閉 式 通 告	ファンファーレⅥ	
役員・選手団退場	入退場行進曲	

7 各競技会の表彰式

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ^{きら}」における各競技会の表彰式については、「国民体育大会開催基準要項」及び「同細則」に基づき、会場地市町村準備（実行）委員会等が関係競技団体と協議の上、次のとおり実施します。

（1）内容

各競技会の表彰式は、概ね次のとおりとします。

- ① 開式通告
- ② 成績発表
- ③ 表彰状授与
- ④ 大会会長トロフィー授与
- ⑤ 競技会会長閉会のあいさつ
- ⑥ 会場地代表歓送のことば
- ⑦ 国旗降納
- ⑧ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納
- ⑨ 競技会終了宣言
- ⑩ 閉式通告



（2）実施上の留意事項

- ① 表彰式の実施にあたっては、競技の特性や種目・種別に応じて、簡素化に努めるものとします。
- ② 表彰式の内容及び所要時間は、選手のコンディションに配慮したものとします。
- ③ 1競技が、複数会場地市町村にわたる場合は、当該市町村準備（実行）委員会等と競技団体が十分協議の上、実施します。
- ④ 大会会長トロフィーは、表彰式において授与するまでの間、表彰式を実施する会場地市町村準備（実行）委員会等が責任を持って保管します。
- ⑤ 特別競技及びデモンストレーションスポーツに係る表彰式の内容については、上記(1)に準じます。ただし、大会会長トロフィー授与は除きます。
- ⑥ 公開競技に係る表彰式については、中央競技団体が内容等を決定します。

（3）その他

この取り扱いに定めるもののほか、表彰式の実施に必要な事項については、会場地市町村準備（実行）委員会等が競技団体及び関係機関と協議の上、別に定めることとします。

8 炬火イベント

(1) 基本的な考え方

- ① 炬火イベントは、「オールあおもり」で創り上げ、国スポ・障スポ開催に向けた気運を高める内容とします。
- ② 県民の誰もが参加しやすく、幅広い世代の交流を通して、一体感と感動を得られる内容とします。
- ③ 各市町村の歴史・伝統・文化の特色を生かし、県民や選手の心に刻まれる内容とします。

(2) 炬火イベント基本方針

- ① 炬火は、県内全市町村で採火し、保管します。
- ② 採火した炬火は一つに集火し、総合開会式・開会式において炬火台に点火します。
- ③ 炬火の市町村間リレーは、原則として行いません。
- ④ 採火した炬火は、各市町村が実施する催しで活用することができます。
- ⑤ 実施にあたっては簡素・効率化を心掛けながらも、地域の特色を生かし、多くの県民が参加できる内容とします。



9 式典に係る今後のスケジュール

	検討内容	令和4年 (開催4年前)	令和5年 (開催3年前)	令和6～7年 (開催2～1年前)	令和8年 (開催年)
全体計画 式典運営 式典音楽 式典演技 炬火関係	<ul style="list-style-type: none"> 式典基本計画 式典実施計画 式典実施要項 	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項	
	<ul style="list-style-type: none"> 式典運営 (競技会表彰式) 	<ul style="list-style-type: none"> 式典全体の基本的な考え方 式次第検討 競技会表彰式基準要項 	<ul style="list-style-type: none"> 全体スケジュール 式次第決定 実施本部体制 動線計画 選手団参集範囲 放送・音響計画 表彰式計画 	<ul style="list-style-type: none"> 総合練習会計画 役員・選手団入退場計画 アナウンサー選定・養成 音響機器・映像システム整備計画 総合練習計画 市町村との連絡調整 	
	<ul style="list-style-type: none"> オープニングプログラム エンディングプログラム 	プログラム構成検討	プログラム内容検討	出演団体決定	練習
		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方 構成イメージ 出演者イメージ 	<ul style="list-style-type: none"> 構成内容検討 出演者選定 映像プログラム検討 	<ul style="list-style-type: none"> 出演団体の募集 演目・出演団体決定 映像制作 練習計画 	
	<ul style="list-style-type: none"> 使用曲選定 音楽隊編成 練習計画 	音楽隊・使用曲検討	使用曲制作	試奏会・録音会	練習
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方 音楽隊編成の構想 使用曲の構想 作・編曲者選定 	<ul style="list-style-type: none"> 使用曲制作 演奏形態検討 出演者選定 服飾デザイン検討 楽器整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者・出演者決定 使用曲決定 楽譜制作 服飾・楽器整備 練習計画 		
<ul style="list-style-type: none"> 演技振付 演技伴奏曲 演技出演者 出演団体 練習計画 	演技展開検討	振付・曲の制作	出演団体決定	練習	
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方 演技コンセプト検討 活用素材検討 伴奏曲検討 出演団体編成計画 	<ul style="list-style-type: none"> 出演団体選定 演技構成・内容検討 振付制作 伴奏曲制作 服飾デザイン検討 	<ul style="list-style-type: none"> 演技展開・振付決定 演技マニュアル策定 出演団体決定 演技用具・手具整備 練習計画 		
<ul style="list-style-type: none"> 炬火演出 炬火用具 炬火台 	炬火演出検討	炬火演出・用具検討	炬火イベント準備	炬火イベント実施・炬火台整備	
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方 炬火イベント基本方針 採火・集火方法検討 炬火用具デザイン検討 	<ul style="list-style-type: none"> 炬火演出 炬火入場、点火計画 炬火用具制作検討 炬火走者選定検討 	<ul style="list-style-type: none"> 採火方法検討 点火、分火、納火の演出 炬火用具デザイン決定 炬火用具制作 		

総合練習会 ・ 総合リハーサル実施





きら
青の煌めきあおもり国スポ
2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会事務局
(青森県企画政策部 国民スポーツ大会準備室 競技式典担当)

〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号

TEL 017-734-9771 FAX 017-734-8032

<https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/>



炬火台・炬火トーチ・炬火受皿の製作及び炬火イベントについて（案）

1 炬火とは

「炬火」は、オリンピックの聖火にあたるもので、国体マークに象徴されたとおり国体のシンボルであり、国スポの総合開会式で会場内の炬火台に点火されます。全国障害者スポーツ大会にも引き継がれ、大会期間中、選手の活躍を見守り続けます。

また、国スポの開催年には炬火イベントも実施され、幅広い年代の県民がイベントに参加することで、国スポ開催に向けた気運醸成を図るとともに、地域の連帯感や郷土意識を深めるために重要な役割を担っています。

2 炬火用具（参考：あすなる国体）

炬火台	炬火トーチ	炬火受皿
<p>国スポ・障スポの開・閉会式会場にあり、両大会期間中、炬火を灯し続けるものです。</p> 	<p>国スポ・障スポの開・閉会式で炬火台への点火等に使用するほか、炬火を活用したイベントで使用します。</p> 	<p>炬火イベント等で炬火を灯し、披露するための受皿です。</p> 

3 炬火台の製作方法について

炬火台の製作にあたっては、以下の考え方に基づき製作します。

（1）製作における考え方

- ・炬火台は前回国体の炬火台を再活用し、前回国体のレガシーを継承します。
- ・総合開・閉会式会場には常設の炬火台がないため、前回国体の炬火台を、仮設移動式の炬火台車へ設置します。
- ・デザイン、材質等は費用面も考慮しながら、専門家に意見を聞き検討します。



あすなる国体炬火台
（是川中居遺跡から発掘された縄文土器をモデルに製作）

(2) 今後のスケジュール

- R 3 (5年前) 炬火台確認、製作方法検討
- R 6 (2年前) 炬火台デザイン決定
- R 7 (1年前) 炬火台実施設計業務委託
- R 8 (開催年) 炬火台製作・管理業務委託

(3) 炬火台について (先催県参考)

	炬火台	製作・デザイン選定
71 岩手	 	復興の架け橋を表現。頂上部は前回国体で使用した炬火台で、もともと県営運動公園陸上競技場にあった馬上杯をかたどり南部铸铁で仕上げた銑鉄製の炬火台をセット。台座は県産アカマツなどの木材を使用。
72 愛媛	 	瀬戸内海をイメージしており、下半分は波の模様が入った砥部焼を使用し、その上に夕日をイメージしたオレンジ色を取り入れ、豊かな自然や風景美を表現。デザインは県内居住者を対象に一般公募。
73 福井	 	前回国体でも使用された県営陸上競技場の伝統ある炬火台を使用。青銅製。 公式のスポーツ大会では初めて炬火の燃料となる水素を使用するなど、次世代クリーンエネルギーが活用。
74 茨城	 	前回大会のレガシーとして現存の炬火台(常設)を活用し、表面は前回大会と同様に笠間焼で修繕・装飾を施して式典で使用。基本デザイン案は炬火受皿と同様。

4 炬火トーチ・炬火受皿の製作方法について

炬火トーチ・炬火受皿の製作にあたっては、以下の考え方にに基づき製作します。

(1) 製作における考え方

- ・デザインの公募・製作等に関することについては今後の式典専門委員会において検討していきます。
- ・材質等は費用面も考慮しながら、専門家に意見を聞き検討します。

(2) 今後のスケジュール

- | | |
|-----------|-----------------------|
| R 3 (5年前) | 炬火トーチ・炬火受皿のデザイン選定方法検討 |
| R 4 (4年前) | 炬火トーチ・炬火受皿のデザイン選定方法決定 |
| R 6 (2年前) | 炬火トーチ・炬火受皿デザイン決定 |
| R 7 (1年前) | 炬火トーチ・炬火受皿実施設計・製作業務委託 |
| R 8 (開催年) | 炬火トーチ・炬火受皿配布・炬火イベント開催 |

5 炬火イベントについて

(1) 炬火イベントの概要

炬火イベントとは、採火から全国障害者スポーツ大会閉会式における納火までの間に、県や市町村が実施する炬火を活用したイベントのことです。採火した炬火を使って、県内で採火イベントや集火を行うことで、開催気運を盛り上げるのが目的です。

<用語の説明>

炬火：国スポ・障スポの会期中に選手の活躍を見守る火。オリンピックの聖火にあたる。

採火：炬火のもととなる火を採取すること。

集火：各地で採火した火を集めて一つにすること。

分火：炬火を複数に分けること。

納火：炬火台の火を消すこと。

(2) 炬火イベントの実施状況（先催県参考）

開催年 (年)	炬火イベント	実施市町村	採火方法	集火イベント
岩手 (H28)	各市町村で採火。採火した炬火を活用したイベント（既存イベント、新規イベント等）を開催。（市町村一任）	全 33 市町村	マイギリ等 (市町村一任)	総合開会式のオープニングプログラムで集火。
愛媛 (H29)		全 20 市町	マイギリ、太陽光等 (市町一任)	総合開会式のオープニングプログラムで集火。
福井 (H30)		全 17 市町	マイギリ等 (市町一任)	はぴりゅうフェスタ (30日前PRイベント)で集火。
茨城 (R元)		全 44 市町村	マイギリ等 (市町村一任)	総合開会式の式典内で集火。

○採火方法（例）

マイギリ方式

マイギリの摩擦熱で発火させる方法。
(軸につけた横木を上下させる)

光化学方式

太陽光を集火し発火させる方法。

移し火方式

地域資源である火から採火する方法。
(花火大会やお祭り等で活用した火を活用)



(3) 三重県（今年度国体開催県）での炬火イベント

三重県では、炬火イベントは県内全 29 市町が主催し、各地域の特色を活かして、県民自らが「炬火」を採火・集火することができるイベントとして開催。

市町で採火された「炬火」は、国体総合開会式のプログラム内で市町代表者（各 1 名）の参加のもと、一つに集火し、炬火台へ点火する。

①三重県の炬火イベントの概要（主催：市町村）

日 程 令和 3 年 4 月から 8 月まで

場 所 県内 29 市町地内

②炬火イベントの例（四日市市）

実 施 日 令和 3 年 4 月 1 8 日（日）

実施場所 イオン四日市北

実施の内容 第 1 回炬火イベント採火式「つながれ よっかいちの火」。

午前 1 0 時 3 0 分のオープニングでは、市長と参加者 3 名がマイギリを使用して採火。その後、参加者がマイギリを使用して採火。

（参加者 4 8 名 [先着]）



(4) 今後のスケジュール

R 4（4 年前） 炬火イベント基本方針決定（式典基本計画）

R 6（2 年前） 炬火イベント市町村説明会・実施内容検討・調査

R 7（1 年前） 炬火イベント実施内容決定

R 8（開催年） 炬火イベントの開催（各市町村において炬火採火）

第80回国民スポーツ大会式典実施計画策定に係る業務委託について

1 「式典実施計画」策定業務委託の概要及び目的

「第80回国民スポーツ大会（青の煌めきあおもり国スポ）」（以下「国スポ」という。）及び「第25回全国障害者スポーツ大会（青の煌めきあおもり障スポ）」（以下「障スポ」という。）の式典（総合開・閉会式、炬火イベント等、以下「式典」という。）の実施にあたって、令和4年度に策定予定の式典基本計画を踏まえ、計画や演出等を具体化する「式典実施計画」を策定するため、業務委託を行うものである。

2 業務委託の概要（予定）

委託項目	委託する内容の概要
(1) 式典実施計画（運営編）の策定	・「国スポ」及び「障スポ」の式典運営に必要な事項の策定（会場ゾーニング、会場内動線等）
(2) 式典実施計画（演技編）の策定	・式典演技テーマ、構成演出、演技計画、オープニングプログラム、エンディングプログラム、ファイナルステージの計画策定
(3) 式典音楽の制作	・式典で使用する楽曲の制作（ファンファーレ、行進曲等）
(4) 式典専門委員会の会議支援	・式典専門委員会が必要となる資料入手、作成及び情報提供 ・委員会へ出席しての説明等

3 選定方法

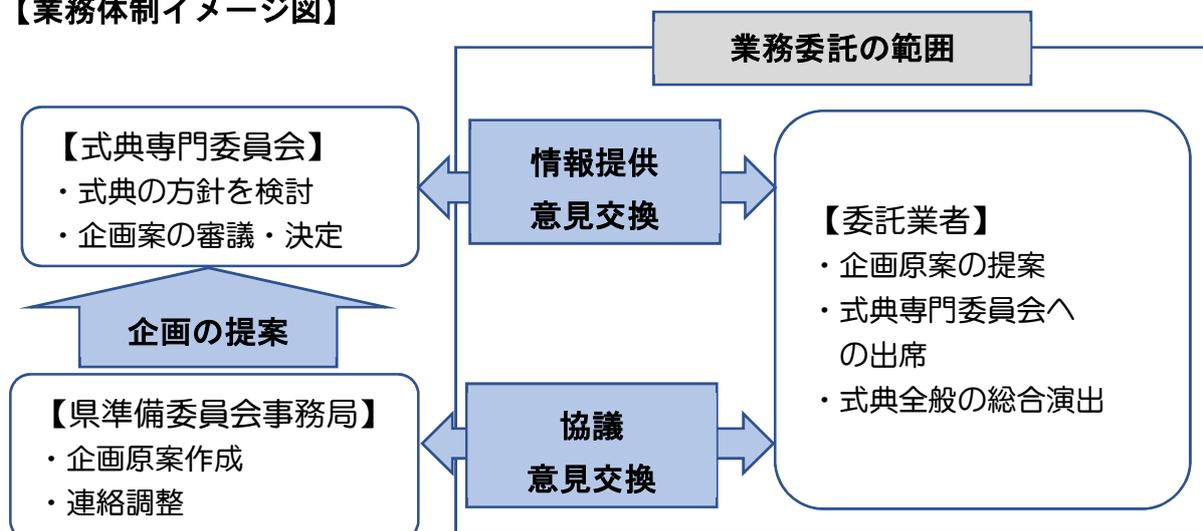
国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の式典は、大型の総合催事であり、契約価格のみで評価、決定される性質のものではなく、業務の目的に合致した企画・技術力が重要となる。

また、企画を行う内容が式典運営から演技や音楽まで多岐にわたる業務となることから、「公募型プロポーザル方式」により委託業者を選定する。

4 業務体制について

令和5年度以降の式典業務の大まかな体制（イメージ）は以下のとおりとする。

【業務体制イメージ図】



5 今後のスケジュール

年	時期	内 容
R 4年度 (4年前)	R 4. 5月	第3回式典専門委員会で「式典基本計画(案)」審議・決定
	R 4. 6月	常任委員会で「式典基本計画(案)」審議・決定
	R 4. 12月	第4回式典専門委員会で式典実施計画の掲載項目について検討
	R 5. 1月下旬	プロポーザル公募開始
	R 5. 2月上旬	プロポーザル説明会 ＜資格審査＞
	R 5. 3月上旬	企画提案書提出期限
	R 5. 3月中旬	企画提案評価＜プレゼンテーション＞
	R 5. 3月下旬	選定結果通知 ＜仕様書、契約書(契約内容)の最終調整＞
R 5年度 (3年前)	R 5. 4月	契約締結
		式典実施計画の掲載内容について式典専門委員との意見交換
	R 5. 10月	第5回式典専門委員会で「式典実施計画(素案)」審議
	R 6. 1月	第6回式典専門委員会で「式典実施計画(案)」審議・決定
	R 6. 1月	常任委員会で「式典実施計画(案)」報告
	R 6. 3月	成果品納期

先催県の総合開・閉会式の概要について

その他2

	73福井 (2018)	74茨城 (2019)	76三重 (2021) ※変更前	77栃木 (2022)	特鹿児島 (2023)
愛称	福井しあわせ元気国体	いきいき茨城ゆめ国体2019	三重とこわか国体	いちご一会とちぎ国体	燃ゆる感動かごしま国体
スローガン	織りなそう 力と技と美しさ	翔べ 羽ばたけ そして未来へ	ときめいて人 かがやいて未来	夢を感動へ。感動を未来へ。	熱い鼓動 風は南から
マスコット	 はぴりゅう	 いばラッキー	 とこまる	 とちまるくん	 ぐりぶーファミリー
式典会場	福井県営陸上競技場	笠松運動公園陸上競技場	三重交通Gスポーツの杜 伊勢	カンセキスタジアムとちぎ	白波スタジアム
プロデューサー	<式典総合プロデューサー> 山根 一真 (東京都出身)	-	-	-	-
委託業者	電通	博報堂	電通	電通	電通
イメージソング	ダンスソング 「君が最高に輝くように」 作詞・作曲：石田公代	「そして未来へ」 作詞・作曲：兒玉苑香 編曲：大寄慶子 歌：磯山 純	「未来に響け」] 作詞・作曲：奥野和憲 編曲：牧戸太郎(松阪市出身) 歌唱者：野田愛実(松阪市出身)	「いちご一会」 作詞・作曲：笠木敦志 歌唱者：サトウヒロコ(壬生町出身)	「ゆめ～KIBARIYANSE～」 作詞・作曲・歌唱：辛島美登里 編曲：NAOKI-T
ダンス	はぴねすダンス・体操	いきいきゆめダンス2019	とこわかダンス	いちご一会ダンス	ゆめ～KIBARIYANSE～ダンス

●総合開会式

開催日	平成30年9月29日 (土)	令和元年9月28日 (土)	令和3年9月25日 (土)	令和4年10月1日 (土)	令和2年10月3日 (土)
式典テーマ	織りなそう 力と技と美しさ	翔べ 羽ばたけ そして未来へ	ときめいて人 かがやいて未来	夢を感動へ。感動を未来へ。	熱い鼓動 風は南から
○炬火					
採火・炬火イベント	17全市町で採火→集火式	44全市町村で採火→式典内で集火	29全市町で採火→集火式	14市11町で採火→OPで集火式	43全市町村で炬火リレー→集火式
炬火	4名で点火	集火後リレー：4走者 (6分)	リレー：3走者 (5分)	リレー：3走者 (5分)	リレー：3走者 (5分)
○式典音楽					
合唱隊	204名 (高校、一般)	150名 (大学、一般)	4名 (三重県出身プロ奏者)	200名程度(高校、大学、一般団体等)	150名 (高校)
吹奏楽隊	210名 (高校、一般)	120名 (高校、一般)	130名程度 (高校、一般)	150名程度(高校、栃木県警音楽隊)	150名 (高校、一般)
その他		先導パレード隊 (高校) 100名			ファンファーレ隊 (高校) 20名
○オープニングプログラム					
時間	110分 (11:00～12:50)	110分 (11:00～12:50)	40分 (12:10～12:50)	110分 (11:00～12:50)	110分 (11:00～12:50)
演出	①主催者選定プログラム「小浜放生祭」「三國湊 帯のまち流し」「勝山左義長」 「OTAIKO響」 ②公募プログラム「民謡」「太極拳演武」 「YOSAKOI演舞」「マーチング&パトントワリング」 ③映像プログラム (福井県の紹介、著名人応援メッセージ) ④企画プログラム「競技かるた紹介」「車いすバスケ、車いすテニス競技PR」「はぴねすダンス振付練習」	①公募プログラム「フォークダンス」「木遣/梯子乗」「演武」「詞舞/水戸八景」「和太鼓演奏」 ②映像プログラム「大会開催までの歩み」「茨城の歴史文化」「茨城の自然、観光、食」「茨城の産業、未来」「応援メッセージ」 ③主催者選定プログラム「いきいきゆめダンス2019」※ダンスコンテスト入賞チーム ④観客参加型プログラム「ラジオ体操」「式典前演技練習」	①企画プログラム (観客を巻き込むプログラム) ②映像プログラム (三重の魅力、炬火イベントの様子、県民からの応援メッセージ)	① 公募・主催者選定・主催者企画「栃木の元気発」(文化・伝統芸能団体の活動発表、県内紹介映像) ②主催者選定、主催者企画「スポーツの可能性」(スポーツ紹介、有名選手応援メッセージ映像) ③主催者企画「国体に参加しよう」(炬火集火イベント、式典前演技練習、ダンス全体練習、おもてなしプログラム)	①主催者プログラム (芸術文化・スポーツパフォーマンス)「祝砲」「三島村ジャンベ演奏」「鳥唄演奏」「妙円寺詣り」「演武」「鹿児島と宇宙」「かごしま方言クイズ」 ②公募プログラム (芸術文化・スポーツパフォーマンス)「竹はんや踊り」「空手演武」「ダンスパフォーマンス」 ③映像プログラム (魅力・応援メッセージの紹介映像) ④県民、観客参加型プログラム (県民・観客参加のパフォーマンス)「イメージダンス」
出演団体	公募あり	公募あり	公募なし	公募あり	公募あり
出演人数	約2,800名	2,117名			

○式典演技					
テーマ・タイトル	アスリートたちへ贈る賛歌	いばらぎ風土記2019	gift from me ～選手に届け とこわかのカ～	人*むすぶ*大地 人*つくる*未来	Heartbeat Kagoshima ～鹿児島島の鼓動～
構成/部	5部構成	4部構成	5部構成	5部構成	6部構成
演技構成	①シーン1「みんなが待ち望んだ日」 (一般、小/約80名) ②シーン2「ようこそ福井へ」 (高、一般/約400名) ③シーン3「スポーツは熱く美しい」 (高、一般/約490名) ④シーン4「全力エール!力と技の挑戦」 (一般/約380名) ⑤フィナーレ「しあわせ元気 全開!」 (一般、全出演者/約1950名)	①序章「喜び」9分 (園児、高/約320名) ②第1章「悠久の歴史と文化」6分 (中、高、特支、一般/約400名) ③第2章「豊かな自然ときめく大地」7分 (小、中、高、大、一般/約400名) ④第3章「未来の躍動」8分 (小、中、高、特支、一般、全出演者/約1700名)	①Scene01「物語のはじまり」 (中、高、一般/約310名) ②Scene02「謎の言葉」 (大、一般、Scene01出演者/約460名) ③Scene03「答えは三重に」 (高、一般/約700名) ④Scene04「とこわかのカ」 (ダンスコンテスト参加チーム、特支、Scene01～Scene03出演者/約1200名) ⑤Scene05「エピソード」 (全出演者/約1200名)	①オープニング(ナビゲーター) ②Scene1 恵まれた「大地」(自然) (中・高/約600名) ③Scene2「出会い」と「繋がり」(文化) (高・大/約400名) ④Scene3豊かなとちぎ(更なる「可能性」) (園児・小・特支・高・一般/約400～500名) ⑤エンディング 夢を感動へ。感動を未来へ。 ～いちご一会(ナビゲーター、一般、全出演者/約1800～1900名)	①プロローグ～鼓動との出会い～(ストーリーテラー)1分30秒 ②第1章～若き鼓動～若き薩摩の精神～(ストーリーテラー、小、特支、大/約480名)5分30秒 ③第2章～生命の鼓動～生命の力強さ(ストーリーテラー、高/約500名)5分30秒 ④第3章～熱き鼓動～熱き情熱(ストーリーテラー、中、高、和太鼓団体/約500名)6分30秒 ⑤第4章～未来への鼓動～輝ける未来(ストーリーテラー、マーチングバンド、小、中、高、バトン団体/約350名)6分 ⑥最終章～鹿児島島の鼓動～鹿児島島の想い(ストーリーテラー、おはら踊り団体、1～4章出演者/約2000名)5分
時間	30分(13:00～13:30)	30分(13:00～13:30)	30分(14:15～14:45)	30分(13:00～13:30)	30分(13:00～13:30)
出演団体	小・高・一般	園児・小・中・高・大・特支・一般	中・高・大・特支・一般・ダンスコンテスト	園児・小・中・高・大・特支・一般	小・中・高・大・特支・一般
出演人数	約1950名	約1,700名	約1,200名	約1,800名～1,900名	約2,000名
○エンディングプログラム					
時間	30分(15:11～15:41)	30分(15:02～15:32)	38分(14:47～15:25)	30分(15:05～15:35)	30分(15:07～15:37)
演出	・主催者プログラム (福井県ゆかりのアーティストによるライブコンサート)	・主催者プログラム (茨城県ゆかりのアーティストによるライブコンサート)	「エンディングセレモニー」 ・企画プログラム (会場が一体となって選手の活躍を祈りエールを送る)※E P内で選手団退場	・主催者企画「スポーツの可能性」 (本県ゆかりの出演者によるパフォーマンス、ミニスポーツ大会)	・主催者プログラム (鹿児島県ゆかりのアーティストによるコンサート)
出演団体・出演者	五木ひろし、775名	城之内早苗、マシコタツロウ	中・高・大・特支・一般・ダンスコンテスト約1,200名		県ゆかりのアーティストによるコンサート

●総合閉会式

開催日	平成30年10月9日(火)	令和元年10月8日(火)	令和3年10月5日(火)	令和4年10月11日(火)	令和2年10月13日(火)
○炬火					
炬火分火	1名で分火→1名に引継ぎ→2名で退場	2名で分火→2名に引継ぎ→退場	2名で分火→2名に引継ぎ→退場	1名で分火→1名に引継ぎ→2名で退場	1名で分火→1名に引継ぎ→2名で退場
納火	アナウンスに合わせて納火(5分)	アナウンスに合わせて納火(4分)	アナウンスに合わせて納火(4分)	アナウンスに合わせて納火(4分)	アナウンスに合わせて納火(4分)
○オープニングプログラム					
時間	45分(13:00～13:45)	45分(13:00～13:45)	40分(10:00～10:40)	45分(13:00～13:45)	45分(13:00～13:45)
演出	・主催者選定プログラム(伝統芸能等) ・公募プログラム ・映像プログラム	①公募プログラム「筑波山ガマロ上」「ダンス」 ②映像プログラム「いきいき茨城ゆめ国体は依頼と映像」 ③主催者選定プログラム「いきいき茨城ゆめ大会競技デモンストレーション」	・企画プログラム (三重とこわか大会につながるプログラム) ・映像プログラム (感動を伝え未来へつながるプログラム)	・主催者選定「栃木の元気発信」 ※本県ゆかりの出演者によるパフォーマンス ・主催者選定、主催者企画 「スポーツの可能性」 ※障スポデモンストレーション、映像	①主催者プログラム(芸術文化・スポーツパフォーマンス)「大会競技紹介等」 ②公募プログラム(芸術文化・スポーツパフォーマンス)「太極拳演武」 ③映像プログラム(11日間を振り返る国体メモリアル映像、国体選手から大会選手へ熱い思いを伝える映像) ④県民、観客参加型プログラム(県民・観客参加のパフォーマンス)「イメージソング大合唱」
出演団体	公募あり	公募あり	公募なし	公募なし	公募あり